

にら新品種「ゆめみどり」の連続収穫における実用性 の実証

要約

にら「ゆめみどり」の収量は、3回の収穫で10aあたり5.3tで、対照品種よりも29%多かった。品質は、AL品率が90.5%と良好で、対照品種よりも平均4.2%高かった。

○ 展示のねらい

「ゆめみどり」は他品種より多収で、連続収穫に適した品種であることから、ウォーターカーテン保温による連続収穫作型の普及に向けた栽培技術を実証する。

○ 主な成果

| | 播種 | 定植 | 捨刈り | 1 番刈り | 2 番刈り | 3 番刈り |
|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|
| ゆめみどり | 3/22 | 6/22 | 12/25 | 2/9 | 3/16 | 4/15 |
| 対照品種 | 3/22 | 6/22 | 1/6 | 2/20 | 3/23 | 4/21 |

- ・「ゆめみどり」の3回の収穫量の合計は5.3t/10aであった。
対照品種の3回の収穫量の合計は4.1t/10aであった(図1)。
- ・「ゆめみどり」の平均AL品率は90.5%であった。
対照品種の平均AL品率は86.3%であった(図2)。
- ・表皮剥離は、「ゆめみどり」の2番刈りにおいて株当たり0.8本認められた。

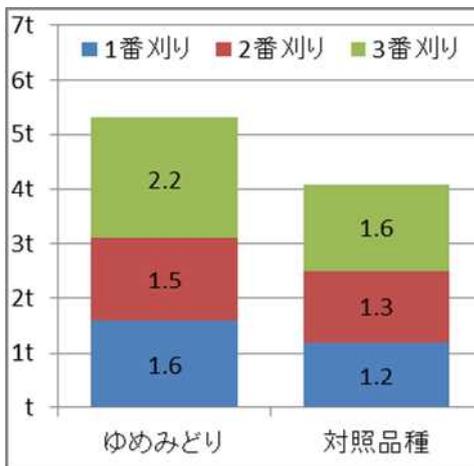


図1 番刈り別収穫量 (t/10a)

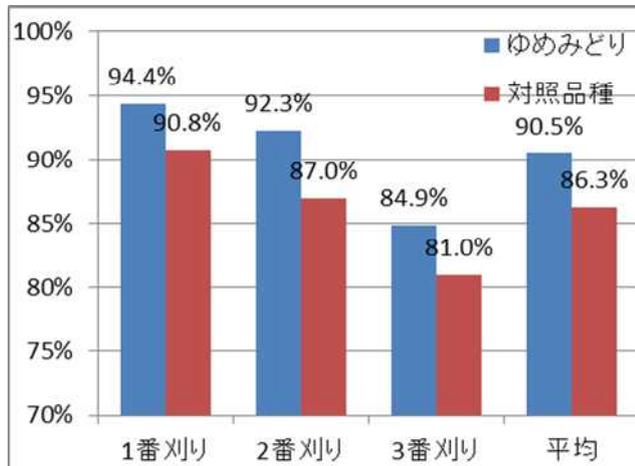


図2 番刈り別AL品率 (%)

○ 今後の方向性

「ゆめみどり」は、高い収量性に加えて、AL品率が高くなる品種特性が確認できたため、出荷調整の作業性が向上することをPRし、普及拡大を図っていく。

一方、本品種は表皮剥離しやすい傾向も見られたため、温度の日較差が大きくなりすぎないような換気等、適切な栽培管理を指導していく。

実施機関：塩谷南那須農業振興事務所経営普及部 実施場所：さくら市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315